

株主メモ

決算期
定時株主総会
期末配当金支払株主確定日
中間配当金支払株主確定日
公告の方法

3月31日
6月
3月31日
9月30日
電子公告
当社ホームページ（下記URL）に掲載
<http://www.jti.co.jp/>

※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
（事務取扱場所）
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（お問い合わせ先 郵便物送付先）
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
（受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
（特別口座に関する手続用紙のご請求）
特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル（0120-244-479）で24時間承っておりますので、ご利用ください。
口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続き

株主優待商品発送のご案内

当社では、2008年9月末の株主の皆様にご贈呈する株主優待より、ご希望の優待商品をお選びいただく制度への変更を行っております。期限までにお申し込みいただいた場合は、1月末から2月初旬にお届けしておりますが、まだお手元に届かない株主様がいらっしゃいましたら、お手数ですが、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

JT株主優待事務局
（商品発送代行：株式会社ジェイティクリエイティブサービス）
フリーダイヤル 0120-791-187
（受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00）

なお、株主優待商品につきましては、株主名簿にご登録いただいておりますご住所までにお届けしております。
引越し等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。
特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

日本たばこ産業株式会社
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
電話：03-3582-3111
<http://www.jti.co.jp/>



この業績報告書は森林保護につながるFSC認証紙（無塩素漂白）を使用するとともに、大豆油インキを使用しています。

Welcome to the Delight World Vol.24



業績報告書

CONTENTS

2009年3月期（2008年度）第3四半期決算のご報告

この人に煙草あり。／北原白秋

特集

●海外たばこ事業 JT社長インタビュー

2008年海外たばこ事業実績（速報）

JTIの社会貢献活動

JTサンダース・JTマーヴェラス
リーグ初制覇に向け熱戦展開中!!

ニュース掲示板

JTグループ商品のご案内

- ルーツ「アロマブラック ホットブレンド」 好評発売中
- ルーツ「ファインデイズ! 微糖」 好評発売中
- お弁当シリーズ「ミニ春巻」 リニューアル
- 「鍋焼うどん」 リニューアル

株式の諸手続きについて



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2009年3月期（2008年度）第3四半期決算は、海外たばこ事業の順調な成長に加え、ギャラハー社及び加ト吉グループの連結等により増収、EBITDA（営業利益＋減価償却費）は増益となりました。一方、営業利益、経常利益、四半期純利益については、会計基準の変更に伴う海外たばこ事業におけるのれんの償却開始等により減益となりました。

2009年3月期の業績予想については、海外たばこ事業の順調な成長ならびにギャラハー社及び加ト吉グループの連結等により、売上高は過去最高となる見込です。また、海外たばこ事業において円高による海外子会社を連結する際の邦貨換算レートのマイナス影響の発生が見込まれるものの、継続した販売数量の成長が為替のマイナス影響を上回り、EBITDAは増益となり、過去最高となる見込です。

世界的な金融危機の深刻化や株式、為替市場の大幅な変動の中、米国、欧州はもとより、アジアにおいても景気の悪化がみられています。わが国経済につきましても、世界的な景気悪化の影響が波及し、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急速な悪化等、景気は後退局面に入りました。たばこという商品は過去の実績から比較的景気の影響を受けにくい商品ではありますが、景気後退が消費に及ぼす影響については注視していく必要があると考えています。

国内たばこ事業のシェアは、主力ブランドへの新製品投入や対面販路への積極的な販売促進活動等により上昇傾向が続いており、2年連続のシェア向上を目指してまいります。また、海外たばこ事業においては、高価格帯の商品から低価格帯の商品までバランスのとれたポートフォリオを有しており、消費トレンドの変化にも柔軟に対応できるものと考えております。

株主の皆様におかれましては、本年も引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年2月
代表取締役社長

木村 宏

2009年3月期（2008年度） 第3四半期決算のご報告

2009年3月期（2008年度）第3四半期決算の概要

2009年3月期（2008年度）第3四半期決算は表1をご覧くださいとおり、売上高は増収、EBITDA（営業利益＋減価償却費）は増益となったものの、営業利益・経常利益・四半期純利益は減益となりました。

税抜売上高は、国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外子会社を連結する際の邦貨換算レートのマイナス影響等があったものの、海外たばこ事業における販売数量の増加、ギャラハー社業績の通期化寄与及び加ト吉グループの連結等により、前年同期比3,113億円増収の2兆2,203億円となりました。EBITDA（営業利益＋減価償却費）は増益だったものの、営業利益は、会計基準の変更に伴う海外たばこ事業におけるのれんの償却開始、

国内たばこ事業における販売促進費の増加等により、前年同期比371億円減益の3,296億円となりました。

経常利益については、連結子会社のユーロ建社債の期末評価において為替差損が発生したこと及びギャラハー社の連結に伴う支払利息の増加等から、前年同期比580億円減益の2,690億円となりました。

また、四半期純利益は国内及び海外たばこ事業における事業構造強化費用、廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失の発生及びチルド加工食品事業からの撤退に先立つ事業整理損の計上等により前年同期比888億円減益の1,314億円となりました。

■表1 2009年3月期（2008年度）第3四半期決算

（単位：億円）

	2008年3月期第3四半期	2009年3月期第3四半期	増減
税込売上高	47,042	53,461	6,418
税抜売上高※1	19,089	22,203	3,113
EBITDA※2	4,862	5,413	551
営業利益	3,667	3,296	△ 371
経常利益	3,271	2,690	△ 580
四半期純利益	2,203	1,314	△ 888

※1 税抜売上高はたばこ税を除いた売上高

※2 EBITDA＝営業利益＋減価償却費 キャッシュフロー・ベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く主要利益

営業利益	3,680	4,101	420
経常利益	3,283	3,494	210
四半期純利益	2,216	2,119	△ 96

各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業については、販売数量の減少に加え、販売促進費及びコストの増加等により減収減益となりました。JT販売数量については、構造的要因を背景とした減少傾向に加え、「taspo」（タスポ）稼動による一時的な購買機会の損失により、4.5%の減少となりました。第3四半期累計のJTシェアは、対前年同期に比べ、0.1%ポイント増の65.0%となり、2007年度シェアを上回りました。これは主に「taspo」導入によりウェイトが高まったコンビニエンススト

アを中心とした対面販路において、マイルドセブン・ファミリーを中心に露出強化を図ったことや、「ピアニッシモ・フラン・メンソール・ワン」、「セーラム・アラスカ・メンソール」といった新製品の投入、及びセブンスターのボックス製品のデザイン改善等を実施した成果だと考えています。今後については、2月に投入した新製品「セブンスター・ブラック・インパクト」のプロモーションや3月に予定しているセブンスター発売40周年記念キャンペーンを通じて、主力ブランドを中心にブランド価値を高めていきます。これらの戦略に着実に取り組むことで、2期連続でシェアアップを目指します。

テレビCM

「ひろえば街が好きになる運動」篇 放映中



今回の企業CMでは、JTが「ごみを拾うことを通じて、捨てない気持ちを育てたい」という想いで実施している清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」を背景に、JTスタッフとその地域の人々のふれあいをドキュメンタリー仕立てにお見せし

ています。年齢や国籍も違う様々な人たちが「清掃活動」を通じてマナーの意識を高め、共に成長していくシーンを描くことで、今回のコミュニケーションコンセプトである「多様性の尊重・共生の思想」を表現しました。

SevenStars

新製品

“吸い応えの、黒” 「セブンスター・ブラック・インパクト」登場

セブンスターの新製品「セブンスター・ブラック・インパクト」を、2月上旬より全国で発売しました。「セブンスター・ブラック・インパクト」は、セブンスターの特徴である、しっかりとした吸い応えと深い味わいを際立たせた強い“吸い応え”と、セブンスターらしい旨みのある“コク”が味わえる、タール7mgのレギュラー製品です。

「セブンスター・ブラック・インパクト」

製品サイズ：フィルター付キングサイズ
フィルタータイプ：チャコールフィルター
タール値：7mg／本
ニコチン値：0.7mg／本
包装形態：20本入り ソフトバック
価格：300円

3月初旬～ 数量限定

発売40周年スペシャルパッケージ セブンスター・スペシャル・エディションを販売

セブンスター発売40周年を記念して、「セブンスター」「セブンスター・ライト・メンソール」2銘柄の数量限定スペシャルパッケージを販売します。セブンスターの不変のデザイン価値を深化させ、ヴィンテージ感のあるデザインに仕上げました。

※スペシャル・エディションの味・香り・タール値は、通常製品と変わりません。

※スペシャル・エディションは限定デザイン製品のため、販売数量に限りがございます。そのため、取扱のないたばこ販売店もございます。また、取扱のあるたばこ販売店でも品切れの場合がございます。

「セブンスター」

製品サイズ：フィルター付キングサイズ
フィルタータイプ：チャコールフィルター
タール値：14mg／本
ニコチン値：1.2mg／本
包装形態：20本入りソフトバック
価格：300円

「セブンスター・ライト・メンソール」

製品サイズ：フィルター付キングサイズ
フィルタータイプ：プレーンフィルター
タール値：7mg／本
ニコチン値：0.6mg／本
包装形態：20本入りソフトバック
価格：300円

海外たばこ事業

第3四半期における海外たばこ事業の販売数量は、「ウinston」がロシア、ウクライナ、トルコ、スペインで、「キャメル」がイタリア、

ロシア、スペインで、「マイルドセブン」が韓国、台湾、ロシア、マレーシアで順調に伸びていること等により、前年同期に対し25.2%増、グローバル・フラッグシップ・ブランド（GFB）の販売数量は対前年同期比27.1%増となりました。この結果、売上高、利益ともに前年を大幅に上回る実績となりました。

医薬事業

第3四半期は、メルク社より経口骨粗鬆症治療薬「JTT-305」の導出一時金収入等があったことや、ロシュ社へ導出した脂質異常症治療薬「JTT-705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入があったこと等から、増収となり、利益が

改善しました。研究開発状況としては、高尿酸血症治療薬「JTT-552」が開発中止となり、現在9品目の臨床開発が進んでいます。なお、海外で開発を進めている2型糖尿病治療薬「JTT-654」が国内においても臨床開発段階に入りました。今後も開発品のステージアップとパイプラインの充実及び戦略的な導出入機会の探索を図っていきます。

■医薬事業 臨床開発品目（2009年2月9日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-651 (経口)	国内：Phase1	2型糖尿病	グリコーゲン分解酵素であるGPの働きを阻害することにより、肝臓から血中への糖放出を抑制し、血糖を低下させる	
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	

食品事業

食品事業については、加工食品事業における農薬混入事案影響に伴う売上の減少、飲料事業における天候影響及び競争激化に伴う売上の減少に加え、昨今の急激な景気後退による消費低迷の影響を受けたものの、加ト吉グループの連結等により、増収となりました。一方営業損益

については、経費の増加、原材料価格の高騰及び加ト吉グループ連結に伴うのれん償却の影響等により、営業損失を計上しました。

加工食品事業における事業統合に関しては、商品開発・営業等の各機能の統合を順次進めているところであり、予定通り本年4月に新体制へ移行します。

また、営業機能の統合に先立ち、本年3月発売の家庭用冷凍食品より、順次、販売者表示を

加ト吉に統一することとしており、それに伴いパッケージデザイン等の変更も行っています。
また、安全管理体制については、さらなる強

化策として検査機能、品質管理機能強化に向け、羽田に検査センターを新設する計画等の取り組みを進めています。

2009年3月期（2008年度）業績予想

2009年3月期（2008年度）の業績予想については、税込売上高は国内たばこ事業において予想販売量を10億本上方修正する一方、食品事業において、チルド加工食品事業からの撤退に伴い関連する子会社を連結除外するとともに、消費低迷影響の深刻化から販売の減少を見込み、下方修正いたします。一方、営業利益については、海外たばこ事業におけるGFB販売数

量の増加等を受け上方修正するとともに、経常利益についても、為替差損の減少を見込むことから上方修正いたします。当期純利益については、第3四半期に計上した事業構造強化費用及び連結子会社における繰延税金資産の取崩しによる税金費用の計上等を織り込み、下方修正いたします。

■表2 2009年3月期（2008年度）業績予想

（単位：億円）

	2009年3月期業績予想 第2四半期時見込	2009年3月期業績予想 第3四半期時見込	増減	2008年3月期実績
税込売上高	68,700	68,300	△ 400	64,097
EBITDA※	6,340	6,380	40	6,020
営業利益	3,480	3,550	70	4,305
経常利益	2,900	3,020	120	3,626
当期純利益	1,600	1,380	△ 220	2,387

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費 キャッシュフロー・ベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く当期純利益

当期純利益	2,640	2,430	△ 210	2,425
-------	-------	-------	-------	-------

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以

下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度末 (2008年3月31日)	当第3四半期末 (2008年12月31日)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,234,695	1,360,204	125,508
固定資産	3,852,518	3,169,963	△ 682,554
有形固定資産	763,332	705,708	△ 57,623
建物及び構築物	281,742	253,208	△ 28,533
機械装置及び運搬具	218,973	204,400	△ 14,573
土地	157,380	153,949	△ 3,431
その他	105,234	94,150	△ 11,084
無形固定資産	2,759,407	2,181,657	△ 577,749
のれん	2,106,887	1,668,892	△ 437,994
商標権	613,496	479,836	△ 133,659
その他	39,023	32,927	△ 6,095
投資その他の資産	329,778	282,596	△ 47,181
資産合計	5,087,214	4,530,167	△ 557,046

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度末 (2008年3月31日)	当第3四半期末 (2008年12月31日)	増減金額
負債の部			
流動負債	1,284,396	1,350,844	66,448
固定負債	1,648,188	1,325,054	△ 323,134
負債合計	2,932,584	2,675,898	△ 256,686
純資産の部			
株主資本	2,106,311	1,994,876	△ 111,435
評価・換算差額等	△ 30,238	△ 214,800	△ 184,561
新株予約権	185	325	140
少数株主持分	78,370	73,867	△ 4,502
純資産合計	2,154,629	1,854,269	△ 300,360
負債及び純資産合計	5,087,214	4,530,167	△ 557,046

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

のれんの償却により減少しました。また、会計基準の変更に伴い今年度の期首において、過年度の償却相当額を調整しました。のれんの期首調整に伴い、株主資本に含まれる利益剰余金も調整しました。

円高の影響により、在外子会社の資産・負債の期末評価額が圧縮されました。

円高の影響により、評価・換算差額等に含まれる為替換算調整勘定が多額のマイナス計上となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	当第3四半期 (2008年4月1日から 2008年12月31日まで)	増減金額
売上高	4,704,275	5,346,145	641,870
売上原価	3,821,389	4,332,945	511,556
売上総利益	882,886	1,013,200	130,313
販売費及び一般管理費	516,116	683,545	167,428
営業利益	366,769	329,654	△ 37,114
営業外収益	19,040	16,769	△ 2,271
営業外費用	58,709	77,398	18,689
経常利益	327,100	269,024	△ 58,075
特別利益	39,346	41,785	2,438
特別損失	23,841	70,392	46,551
税金等調整前四半期純利益	342,605	240,417	△ 102,187
法人税等	116,832	104,511	△ 12,320
少数株主利益	5,452	4,451	△ 1,001
四半期純利益	220,319	131,454	△ 88,865

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内たばこ事業において販売数量の減少等があったものの、海外たばこ事業における売上成長の継続、海外たばこ事業におけるギャラハー社、食品事業における加トグループの連結等により増収となりました。

会計基準の変更に伴う海外たばこ事業におけるのれんの償却開始や国内たばこ事業における販売促進費の増加等により、減益となりました。

連結子会社のユーロ建社債の期末評価において為替差損が発生したこと及びギャラハー社連結に伴う支払利息の増加等により、減益となりました。

国内及び海外たばこ事業における事業構造強化費用及びチルド加工食品事業からの撤退に先立つ事業整理損の計上等により、減益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)			
科 目	前第3四半期 (2007年4月1日から 2007年12月31日まで)	当第3四半期 (2008年4月1日から 2008年12月31日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,696	358,722	151,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,581,192	△ 31,636	1,549,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	420,257	△ 260,538	△ 680,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,659	△ 23,511	△ 57,170
現金及び現金同等物の増減額	△ 919,578	43,036	962,615
現金及び現金同等物の期首残高	1,179,522	215,008	△ 964,513
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 953	△ 953
現金及び現金同等物の四半期末残高	259,943	257,091	△ 2,851

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

前期にギャラハー社株式の取得があったことによるものです。

前期に主にギャラハー社株式取得に係る資金調達を目的として金融機関からの借入を実施しましたが、今期は一部返済を進めていることによるものです。



北原白秋

絶え間ない“紫烟”と共に つむがれた詩歌と人生

雨

はふるふる、城ヶ島の
磯に／利休鼠の雨がふる——で
始まる「城ヶ島の雨」の歌詞は、
北原白秋28歳の作。白秋が歌謡
のために初めて書いた詞で、梁
田貞（1885～1959）が作曲し、
1913年（大正2）の芸術座音楽
祭で披露された。

芸術座といえば、その翌年に
「カチューシャの唄」で大ヒット
をとばした女優松井須磨子（1886
～1919）と新劇の指導者島村抱月
（1871～1918）が、前年に旗揚げ
した劇団で、のちに「証城寺の
狸囃子」などで大作曲家になっ
た中山晋平（1887～1952）も、当
時25歳で参加している。

「カチューシャの唄」は劇中
歌であったが、これがあたりに
あたったので芸術座は味を占め、
白秋も、中山に求められて劇中
歌をいくつか作詞している。

煙草のめのめ、空まで煙せ
どうせ、この世は癪のたね
煙よ、煙よ、ただ煙

一切合切、みな煙

で始まる四連の詞「煙草のめの
め」は、『カルメン』（メリメ原作、
川村花菱脚色）の劇中歌で、た
ばこ工場の女工員が歌う。また、
白秋は、替え歌も作っている。

煙草よくよく、横目でみたら
好きなお方も、また煙草

白秋は、芸術家気質の、感情
の起伏が激しい人だったようで、
結婚は三度している。二番目の
妻章子との新居を、白秋は、「紫烟
草舎」と名付け、このときのこ
とを「妻がもう夕餐の煙を立て
ている。私は茄子やもろこしの
間を駆け抜けた。／紫の煙！
紫の煙！ 私は私達のこの畑の
中の新居を、その晩、紫烟草舎
と名をつけた」（『葛飾から伊太
利へ』）と記している。気に入
った命名だったのか、自らの詩
歌の結社名も「紫烟草舎」、同
人誌の名を「煙草の花」として
いる。

ところで、「紫烟」は、竈の
煙とも言われているが、やはり
たばこの煙ともかけていたのだ
ろう。白秋の門下生藪田義雄
（1902～1984）によると、白秋
は超ヘビースモーカーで、全盛
時には、口付紙巻たばこ「敷島」
を一日平均10箱以上吸っていた
そうだ。先から三分の一くらい
吸うと捨てて、次の1本に火を
つけ、ほとんど休む間がなく、
考え事をしている時は、無意識
に吸い口を噛んでしまう癖があ
った。たばこ入れに、うずたか
く盛り上げられた「敷島」を見
た人は、目を見張ったという
（『評伝北原白秋』）。「敷島」は1
箱20本入りだから、なんと一日
200本以上吸っていた勘定だ。
1942年（昭和17）に生涯を閉じる
まで、人生も“休む間なく”激
しく生きた人だったようだ。

『グレート・スモーカー 歴史を変えた愛煙
家たち』（祥伝社新書）より一部転載
写真提供 日本近代文学館

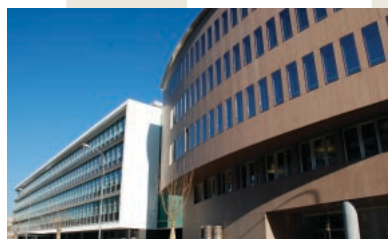
Hakushu Kitahara
（1885年－1942年）

1885年 福岡県山門郡沖ノ端村（現・柳川市）で生まれる
1909年 処女詩集『邪宗門』を刊行
1936年 「多磨短歌会」を結成し、歌誌『多磨』を創刊
1939年 芸術院会員に推薦される

北原白秋——詩人、童謡作家、歌人。新体詩・自由詩・短歌・長歌・俳句・童謡・歌謡・散文など、
あらゆる詩的ジャンルにわたって精力的に創作し、“詩王”と尊称される。
今なお歌い継がれている童謡も多い。本名は、北原隆吉。

海外たばこ事業 Japan Tobacco International (JTインターナショナル) 社長インタビュー

JTグループの 利益成長の牽引役



JTI本社(スイス・ジュネーブ)



Japan Tobacco International 社長

Pierre de Labouchere

ピエール・ドウ・ラボシエール

**Q Japan Tobacco International(JTI)
の概要を教えてください。**

A JTIはJTグループの海外たばこ事業を担う会社です。1999年にJTがRJRナビスコ社の米国外のたばこ事業を買収して誕生し(買収金額

約78億米ドル、当時のレートで約9,400億円)、その後業界最速のスピードで成長を遂げました。2000年から2006年までの7年間でEBITDA(営業利益+減価償却費)が3倍以上に増加し、さらに2007年には、これまでの高い自律成長に加え、英国ギャラハー社の買収により、EBITDAが前年の2倍以上になりました(買収金額約75億ポンド、当時のレートで約1兆7,200億円)。英国ギャラハー社との統合は順調に進んでおり、当初の想定を上回る進捗を見せています。

2009年はJTIの創立10周年にあたります。JTIとしての歴史はまだ浅いものの、たばこ事業においては長年の経験があり、18世紀にまで遡る伝統を有しています^(注1)。全世界120か国以上の国と地域でビジネスを展開し、社員数は約23,000人、Executive Committee(業務執行役員会)の役員16人の国籍も11か国と多岐にわたっています。私たちJTIは多様な文化圏で事業を行う国際的な会社といえます。

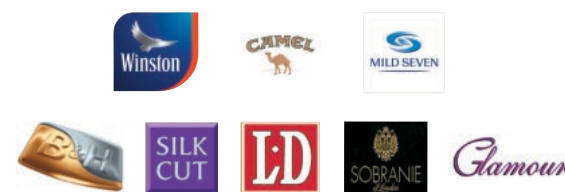
Q JTIの成長戦略について教えてください。

A JTIはJTグループの利益成長の牽引役としての役割を担っています。JTIの特徴は、買収による外部成長のみならず、ビジネスそのものの力強い自律的な成長力にあります。これは、日々の業務での不断の改善を基本原則とし、第一に卓越したブランドの構築・育成、第二に生産性の向上、第三に責任ある企業活動、第四に人材の育成・獲得という4つの戦略を実現してきた成果であると考えます。これら4つの戦略を推し進めるポイントは以下のとおりです。第一に、ブランドは私たちの事業の推進力です。競

合他社を凌ぐ商品をお客様に提供するというシンプルな目標のもと、商品の品質と事業遂行能力の向上に努めています。第二に、私たちの投じる努力・時間・資金から最大のリターンを得るために、コスト低減と事業のプロセス改善を通じた生産性の向上に注力しています。第三に、優れたコーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任が、成功する組織にとって不可欠だという考えのもと、全ての企業行動において最高の水準を目指しています。第四に、私たちの過去の実績における成果は、優れた人材を有していることの証と考えています。将来のあらゆる課題を成功に導くために、最高の人材を惹きつけ、育成するために努力しています。これら4つの戦略が、JTIのさらなる成長の原動力となっています。

Q 商品戦略について教えてください。

A 私たちはグローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)として有する8ブランド(「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」)へ集中的な投資を行う戦略を通じて、高い売上成長を遂げています。また、短期的な利益追求ではなくメーカーとして長期的な展望に立って投資を行っています。例えば、葉たばこのブレンドによる味と香りの改善及びパッケージ改良などの品質の向上を推進し、お客様からのフィードバックを商品開発に活かしています。また、世界中の様々な市場においてそれぞれの市場にふさわしいマーケティング施策を実施することで流通・販売の現場において存在感を高め、お客様のニーズに即したブランド価値の維持向上を図っています。これら全ての事業プロセスに対して一貫して高いレベルを追求していきます。



グローバル・フラッグシップ・ブランド

Q 統合の進捗はどうでしょうか。

A ギャラハー社との事業統合においては、売上成長の追求及び費用削減効果の創出に向けて着実に取り組んでいます。規模の拡大や相互補完性及び技術インフラの強化などにより、2007年夏に発表した統合計画では、2010年までに売上成長により1億ドル、費用削減効果により3億ドル、計4億ドルの統合効果が出ると予想していましたが、事業の統合は非常にスムーズに進み、目標どおりあるいは目標を上回るペースで進捗しています。

Q 最近の世界経済減速の影響は出ていますか。

A たばこは景気後退の影響を受けにくい商品といえます。全く心配がないというわけではありませんが、消費者の買い控えが見られる他の商品と異なり、2008年の販売実績を見る限りではたばこの需要の低下は見られていません。ただし、今後景気後退がさらに深刻化し、より低価格の商品へお客様のニーズがシフトするリスクはあります。しかしながら私たちは、GFBを中心に、あらゆる消費者トレンドをカバーすることが可能な、幅広い価格帯の商品ポートフォリオを保有していることが強みだと考えています。

Q 今後の海外たばこ事業について教えてください。

A JTグループは世界第3位のたばこメーカーであり、さらに上位を狙うことのできる位置にいます。2009年3月期(2008年度)には海外たばこ事業のEBITDAが国内たばこ事業のEBITDAを超える予定であり、JTグループにおけるJTIの重要性はさらに増していきます。長期的な視点に立ったブランド・人材への投資を通じ、より質の高い売上成長を実現することで、引き続きJTグループの利益成長の牽引役を担っていきます。

(注1) 例えばオーストリア地域では、1784年に設立されたオーストリアたばこの事業を継承しています。

2008年海外たばこ事業実績(速報)

2009年2月10日、JTアートホール「アフィニス」において、機関投資家向けに「海外たばこ事業実績説明会」を開催し、ピエール・ドゥ・ラボシエール (Pierre de Labouchere) JTI社長兼CEOならびに新員JTI副社長・副CEO兼CFOが2008年の実績について説明しました。プレゼンテーションの要約は以下の通りです。なお、内容は全て速報値となっています。

(プレゼンテーション資料は、JTのホームページでご覧になれます。
<http://www.jti.co.jp/JTI/IR/briefing.html>)



プレゼンテーションの様子

2008年(1-12月) 実績速報(比較可能ベース)

JTIは、2008年も好調な業績をあげました。総販売数量は、前年比5.1%増の4,523億本となりました。またグローバル・フラッグシップ・ブランド(以下「GFB」)の販売数量は、前年比13.3%増の2,455億本となりました。販売数量の増加

や単価/商品構成の改善、各国通貨とドルの間の為替のプラスの効果により、税売上高は17.4%、EBITDA(営業利益+減価償却費)は22.0%成長しました。

■表1 2008年実績(速報値)

(単位:億本)

	2007年	2008年	増減
販売数量	4,302	4,523	5.1%
GFB販売数量	2,166	2,455	13.3%

(単位:百万ドル)

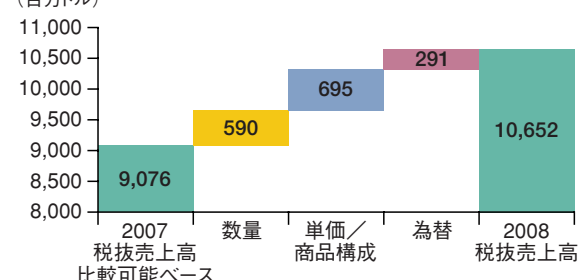
税売上高※1	9,076	10,652	17.4%
EBITDA※2	2,830	3,452	22.0%

※1 税売上高は物流事業を除く

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費 キャッシュフロー・ベースの利益

●図1 税売上高増減要因

(百万ドル)



(注) 流通事業を除く。

ギャラハー社は2007年4月18日から統合しましたが、比較を容易にするために、ギャラハー社が2007年1月から統合していたと仮定した場合の比較可能ベースの実績を使用しています。

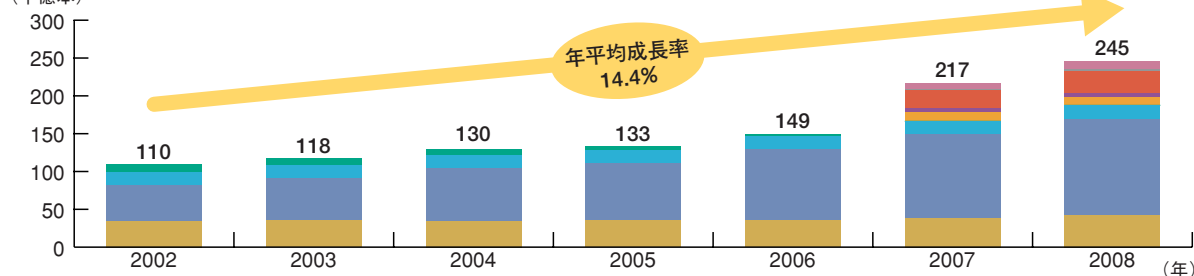
力強いGFB成長

GFBは力強いトップライン成長の牽引役であり、JTIの総販売数量の54%を占めています。GFB販売数量は、2002年以降平均14.4%という

高い成長を遂げています。図3にあるGFB8ブランドのうち6つのブランドは、2008年には2桁成長しました。

●図2 GFB販売数量成長

(十億本)



●図3 GFBポートフォリオ

		JTI販売数量に占める割合	年成長率
プレステージ		1%	+18.7%
プレミアム		17%	+7.2%
サブプレミアム		30%	+15.5%
ミッド/バリュー		6%	+20.7%

JTIはバランスのとれたGFBポートフォリオを有しています。

「ウinston」は、サブプレミアムセグメントの主要ブランドであり、JTIの売上成長の牽引役となっています。アップトレード(低価格商品から高価格商品へシフトするトレンド)とダウントレード(高価格商品から低価格商品へシフトするトレンド)の双方の動きをとることができる優れたポジションにあります。

「キャメル」はプレミアムセグメントにおける成長エンジンです。総需要が減少しつつある西欧における販売が大きな割合を占めているにもかかわらず、ブランドへの継続的な投資により、2008年は2桁成長を遂げることができました。

トップライン成長戦略による継続的な利益成長の実現

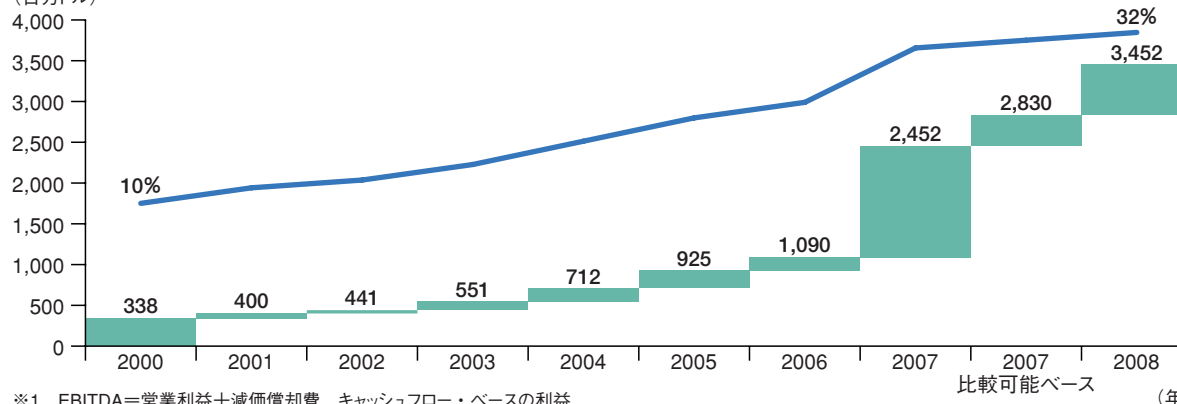
JTIは2000年以降EBITDAを年平均34%成長させ、2008年には過去最高の34億ドルという実績を実現しました。

2008年は、世界中が金融市場の崩壊と急速な景気の悪化にさらされた年でもありました。その中で、たばこ業界は比較的、不況に強いとみなされていますが、もちろん全く無縁とはいえません。2008年の第4四半期中は、私たちのビジネスに金融危機の影響はほとんど見られず、2008年にはEBITDA22%増という力強い成長を実現しましたが、為替影響の逆風を感じ始めました。2009年については、ロシアルーブルや英国ポンドをはじめとする主要通貨がドルに対

して弱くなっており、この影響がJTIの利益に不利に働く見込です。また、JTIのビジネスは消費者のダウントレードやたばこ税増税のリスクに直面しています。しかしながら、力強いGFBと市場ポートフォリオ及びギャラハー社とのシナジーに裏打ちされた持続的な成長モメンタム、また、これまで成長を支えてきた私たちの戦略の継続的な実行により、為替レートが一定という前提において、今後もEBITDAの2桁成長を可能にすると確信しています。これが、JTグループの中長期的な利益成長の牽引役としてJTIが目指していることです。

●図4 EBITDA※1とEBITDAマージン率※2

(百万ドル)



※1 EBITDA=営業利益+減価償却費 キャッシュフロー・ベースの利益

※2 EBITDAマージン率=税売上高(物流事業を除く)に対するEBITDAの比率

JTIの社会貢献活動

JTグループでは、自らが事業を行っている地域社会の発展に貢献するために世界中でさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

JTグループの海外たばこ事業の中核を担うJTIにとって、社会貢献活動は事業を行うそれぞれの地域社会への責任として不可欠な要素となっています。JTIでは、JTグループの社会貢

献活動の基本方針に沿った活動方針とガイドラインを定めて全社で共有し、社会福祉（慈善活動）、文化・芸術、被災地への支援の3分野で積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

●社会福祉（慈善活動）

JTIでは、社会福祉分野における重点活動として高齢者支援及び成人識字率向上といったプログラムをグローバルに展開しています。

●文化・芸術

JTIが事業展開する国際市場には、日本の豊かな文化・芸術についてまだまだ知られていないところが数多くあります。JTIは社会貢献活動の一環として、この状況を変えていくことに取り組んでいます。

●被災地への支援／JTI財団

JTIは2001年、世界各国の恵まれない人々を支援するためにJTI財団を設立しました。特に地震や自然災害での被災者に対する支援に力を入れており、主要救援機関（NGO、赤十字社、政府機関など）と協力して活動しています。

●社会貢献活動の主な取り組み

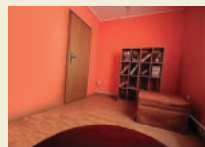
オランダでは、読み書きが満足にできないために社会参加に支障をきたしている約150万人の人々を支援しているレーゼン・アンド・スフレイヴェン財団に加入しています。JTIは、2007年から3年間のパートナーシップを締結し、読み書きが困難な人向けの本の出版費用を寄付しています。



読み書きが困難な人向けに出版された本

社会福祉 (慈善活動)

2004年から4年間にわたり、セルビアで深刻化している家庭内暴力の問題に取り組むNGOに対する支援を行ってきました。ベオグラード市内の非公開で安全な家を家庭内暴力被害者に保護施設として貸し出す費用をJTIが負担しています。この保護施設では、家庭内暴力の危険にさらされている女性や人身売買の犠牲者などを、数百人も保護してきました。



保護施設の一室

JTIミラノでも、高齢者の支援を行うガーディアンと呼ばれるプロジェクトに参加しています。このプロジェクトは家庭訪問を手配したり、移動手段や買い物の支援を提供したり、行政や社会サービスの手続きなどの手助けを行っています。これまで3600人を超える高齢のミラノ市民を支援してきました。



ガーディアン・プロジェクト

2008年の初め、マリンスキー劇場への長期的な取り組みの一環として、マリンスキー劇場創設225年を記念するイベントにスポンサーとして協賛しました。この記念イベントでは、劇場の長い歴史の中で上演されたオペラ及びバレエなどの場面を再現しました。また今後、マリンスキー劇場はロシア及び世界各国で記念公演を行っていきます。



スポンサーとして協賛したコンサート

文化・芸術

JTIがスポンサーを務めたアテネでのイベントで、政府、実業界及び美術界からの招待者に、日本の着物の儀礼や伝統を紹介するという画期的な成果を得ることができました。



日本の伝統や着物を紹介

「薩摩焼パリ伝統美展」では、パリのセーブル美術館での展覧会でJTIが主要スポンサーを務めました。この展覧会はセーブル美術館と鹿児島県などが開催したもので、茶道の「黄金期」と呼ばれる17世紀の薩摩焼の成り立ちや、薩摩焼がヨーロッパ、特にフランスに及ぼした芸術的影響が紹介されました。



薩摩焼パリ伝統美展

リーグ初制覇に向け 熱戦展開中!!

ベネズエラ代表で活躍しているエルナルド・ゴメス選手を加え、更なるチーム力強化を図ったJTサンダーズ。昨シーズンのV・プレミアリーグを6位で終了した雪辱を果たすべく、若手・中堅・ベテランが強い結束力を持って、し烈な戦いに挑んでいます。V・プレミアリーグ王者へ向け、最後まで全力で突き進みます。

最高の勇気を。
最大の感動を。
 ～私たちは進化しつづける～

2008/09V・プレミアリーグ

最高の輝きを。
最大の感動を。
 ～私たちは進化しつづける～

昨シーズンのV・プレミアリーグで8位という悔いの残る結果に終わったJTマーヴェラスは、北京オリンピックに出場した司令塔・竹下佳江選手や、新外国人選手タチアーナ・アルヴェス・ドス・サントス選手（ブラジル出身）を中心に、チーム一丸となってヨシベネーションバレーを展開中。上位進出を目指し、粘り強く戦い続けます。



JTサンダーズ公式ホームページ <http://www.jti.co.jp/JTI/volleyball/men/index.html>

JTマーヴェラス公式ホームページ <http://www.jti.co.jp/JTI/volleyball/women/index.html>

■ バレーボール教室

JTサンダーズ・JTマーヴェラスでは、スポーツを通じて青少年育成などの一助となるように、また、地域のスポーツ振興と発展につながることを目的に、小中学生をはじめ、高校生、ママさんチームなどを対象とした「バレーボール教室」を開催しています。



2008/09V・プレミアリーグ 試合日程

JTサンダーズ

月	日(曜日)	会場	開始時間	対戦チーム
レギュラーラウンド(2009年3月1日以降)				
3	7(土)	広島県立総合体育館(広島)	13:05[2]	JT vs パナソニック
	8(日)	広島県立総合体育館(広島)	13:00[2]	JT vs NEC
	14(土)	大分県立総合体育館(大分)	14:00[1]	JT vs 東レ
	15(日)	日田市総合体育館(大分)	13:00[2]	JT vs 大分三好
	21(土)	函館市民体育館(北海道)	14:00[2]	JT vs サントリー
	22(日)	函館市民体育館(北海道)	13:00[1]	JT vs 豊田合成
セミファイナルラウンド				
4	3(金)	豊田市総合体育館(愛知)	未定	レギュラーラウンド 1位～4位(1回戦総当り)
	4(土)		未定	
	5(日)		未定	
ファイナルラウンド				
4	12(日)	東京体育館(東京)	未定	決勝戦

JTマーヴェラス

月	日(曜日)	会場	開始時間	対戦チーム
レギュラーラウンド(2009年3月1日以降)				
3	1(日)	ひたちなか市総合運動公園体育館(茨城)	13:10[1]	JT vs 久光製薬
	7(土)	所沢市民体育館(埼玉)	14:00[1]	JT vs 武富士
	8(日)	川崎市とどろきアリーナ(神奈川)	13:05[1]	JT vs NEC
	15(日)	鈴鹿市立体育館(三重)	13:00[1]	JT vs 日立佐和
	20(金・祝)	大阪市中央体育館(大阪)	13:00[2]	JT vs デンソー
	21(土)	大阪市中央体育館(大阪)	11:05[3]	JT vs バイオニア
セミファイナルラウンド				
4	3(金)	有明コロシアム(東京)	未定	レギュラーラウンド 1位～4位(1回戦総当り)
	4(土)		未定	
	5(日)		未定	
ファイナルラウンド				
4	11(土)	東京体育館(東京)	未定	決勝戦

※表示の時間は第1試合の開始時間です。
※[1]は第1試合、[2]は第2試合、[3]は第3試合を表します。

■ JTの植林／森林保全活動第6弾 「JTの森 重富」森林保全活動を開始

JTは、自然環境保全の取り組みの一環として、鹿児島県始良郡始良町の社有林約98haの森林を「JTの森 重富」として植林／森林保全活動を開始しました。

「JTの森 重富」はクスノキを主体とした造林地で、昭和30年代より社有林として維持してきたものです。100ha規模のクスノキの森（一部天然広葉樹含む）は現在では希少となっているほか、森の中央には歴史国道「大口筋白銀坂」が通っていることから、自然環境、歴史的資産の両面から保全を行っていくべき資産として

桜島までも一望できる見晴台



ウォーキングイベントでは、開設した歩道を散策

「JTの森」と位置づけ、多様な生物を育み、自然と歴史に親しめる森づくりを目指します。

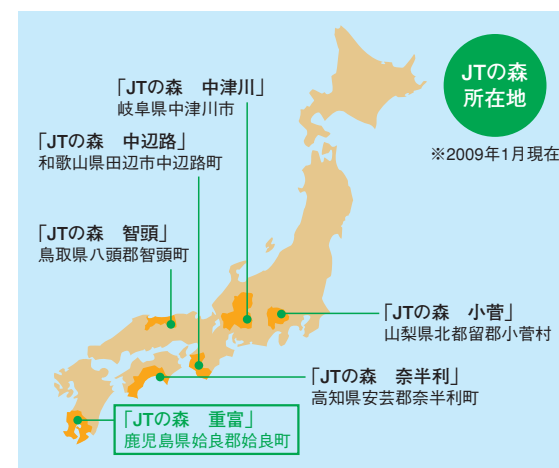
2008年8月より進めていた、枯木の整理やつる払い、白銀坂周辺の歩道の開設や桜島を望める見晴台などの初期整備が終了したため、12月7日に関係者の方々をお招きし、セレモニーとウォーキングイベントを開催しました。

◆「JTの森 重富」実施内容

面積：約98ha

活動内容：除伐、植林、下草刈りなど

主な樹種：クスノキ、タブノキ、スダジイ、ヤマザクラなど



■ たばこ税増税見送りについて

2008年12月12日に、与党の平成21年度税制改正大綱が公表され、たばこ税増税が見送られることとなりました。たばこという特定の商品、お客様及び業界にのみ度重なる負担を強いる増税は、「取りやすいところから取る」という不公平なものであり、業界一丸となって増税反対活動を実施したところ、たばこを吸われる方、吸われない方を問わず、約300万件ものご賛同をいただきました。署名いただいた皆様及び増税

反対活動にご協力いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

たばこ税増税反対 署名件数

300万3939件

(2008年12月16日時点)

※署名の募集は終了させていただきました。署名活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

JTグループ商品のご案内

ルーツ「アロマブラック ホットブレンド」

275gボトル缶／130円
(希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- ホット専用無糖ブラックコーヒー、ルーツ「アロマブラックホットブレンド」がリニューアル。これまでの美味しさはそのままに、2種の焙煎手法を駆使しホット専用コーヒー豆をブレンドすることで「淹れ立ての香り」をさらに追求しました。
- コールド品同様、キャップには滑りにくい「スリップレスキャップ」を採用しました。

「ホット専用」でさらに香りたく!

お弁当シリーズ 「ミニ春巻」

6個入 (150g)

リニューアル



- 国産黒豚肉、シャキシャキのたけのこ、にんじん、キャベツ、しいたけの5種類の具材をとろ〜りおいしくまとめ、パリッと揚げたての皮で包みました。
- XO醤（海鮮系）、芝麻醬（ねりごま）、甜麵醬（甘みそ）に加え、特製オイスターソースでさらに香味をアップ! 本格中華の味わいをお楽しみください。

レンジで簡単、パリッと揚げたて!

ルーツ「ファインデイズ! 微糖」

185g缶／115円
(希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- コーヒー飲料等通常品(7.5g/100ml)に比べ糖類を80%カットし、コーヒーポリフェノールを50%アップ※注。中南米産のコーヒー豆を中心に使用し、軽やかなミルク感にしっかりとコーヒーが引き立つ味わいに仕上げました。
- パッケージは、ホワイト&グリーンを基調とした爽やかな色合いと流れる模様で、すっきりとしたおいしさを伝えています。

※注 当社従来品（プライムエッジ微糖）に比べ50%アップ

からだにうれしい新時代の微糖!

「鍋焼うどん」

1食入 (285g)

リニューアル



- あつあつ鍋焼うどんが、さらにおいしくリニューアル。たっぷり7種類の具材（えび天2尾・鶏肉・まいたけ・白ねぎ・にんじん・かまぼこ・きざみ揚げ）で、おいしさも栄養バランスも大満足です。
- かつおだしをメインにしっかりとった味わいに仕上げたスープは、麺との相性バッチリ! 寒い季節にうれしい一品です。

具材たっぷり鍋焼うどんをお手軽に!

株式の諸手続きについて

(1) 株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は？

当社株式の手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

◎住所変更の手続き

株主総会招集ご通知、配当金領収証又は配当金計算書、株主優待商品等のご登録のご住所あてにお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

(2) 配当金の受取方法は？

◎配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。**現金受取をご選択の株主様には、配当金領収証をお送りいたしますので、お近くのゆうちょ銀行又は郵便局でお早めにお受け取りください。口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・ゆうちょ銀行等の口座に配当金が振り込まれます。また、期末(中間)配当金計算書もお送りいたします。

口座振込には以下の3通りの方法がございます。

①個別銘柄（保有する各株式）ごとに銀行等の預金口座を指定してお受け取りいただく方法
保有する株式ごとにお受け取りいただく銀行等の預金口座を分けることができます。

②保有する株式の配当金を一括して銀行等の預金口座でお受け取りいただく方法

保有する株式の配当金を一括して、登録した振込先（銀行等の口座）でお受け取りいただけます。振込先の指定は、1つの金融機関に限ります。

③証券会社の取引口座でお受け取りいただく方法
証券会社の取引口座（複数の証券会社に残高がある場合は、残高に応じて配分します）で配当金をお受け取りいただけます。特別口座をご利用の株主様はご利用できません。

◎配当金のお受取方法の変更

口座を開設されている証券会社へご連絡ください。複数の証券会社に口座がある場合も、1つの証券会社で手続きができます。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

(3) 配当金関係の書類が届かない場合、又は配当金領収証を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

●特別口座に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
特別口座に関する手続用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-244-479
(三菱UFJ信託銀行株式会社24時間テレホン自動音声応答サービス)

役員

取締役		執行役員	
取締役会長	涌井 洋治	社長	木村 宏
代表取締役社長	木村 宏	副社長	武田 宗高
代表取締役副社長	武田 宗高	副社長	住川 雅明
代表取締役副社長	住川 雅明	副社長	熊倉 一郎
代表取締役副社長	熊倉 一郎	副社長	山田 良一
代表取締役副社長	山田 良一	専務執行役員	下村 隆一
取締役	大久保憲朗	常務執行役員	小泉 光臣
取締役	小泉 光臣	常務執行役員	岩波 正
取締役	古谷 貞雄	常務執行役員	飯島 謙二
取締役	新貝 康司	常務執行役員	久野 辰也
取締役相談役	本田 勝彦	常務執行役員	大久保憲朗
		常務執行役員	石黒 繁夫
		常務執行役員	古谷 貞雄
		常務執行役員	岩井 睦雄
		常務執行役員	志水 雅一
		執行役員	藤崎 義久
		執行役員	前島 宏敏
		執行役員	佐伯 明
		執行役員	永田 亮子
		執行役員	松本 智
		執行役員	宮崎 秀樹
		執行役員	千々岩良二

株価の推移 1994年10月27日上場～2009年1月 当社株価（東証終値,月間）

